

## 18 自己点検・評価

### 進捗状況報告

2007年度は、自己点検・評価の本来の目的は「自律的な発展への循環過程を強化する」こととして評価推進委員会が構築した制度（認証評価を受ける前年度だけでなく、2007年度から毎年度、全学の各学部・研究科・研究所、各部局が、(1)2003年度に設定した目標に対する達成度 (2)2005年度に記した「改善の具体的方策」の進捗状況(3)認証評価結果での指摘に対する改善状況、について進捗状況報告を同委員会に提出し、同委員会が学内第三者評価を行って評価結果を各学部・部局に返却し、学内のPDCAサイクルを促進する制度）を実行した。

日程的には、4月の実施概要承認から始まり、6月1日から各学部・部局等の個別自己評価委員会が自己点検・評価を実施し、その結果を記述した進捗状況報告シートを評価専門委員会に提出した。提出を受けた評価専門委員会は委員それぞれが学内第三者評価をいったん行ったうえで、評価結果を持ち寄って評価基準を統一し、評価結果（原案）を作成した。そして、各学部・部局等との意見交換を経て評価結果（案）を作成し、評価推進委員会（10月26日）の承認を得て「2007年度自己点検・評価結果」として確定させ、10月27日にホームページで公表した。その中で、項目ごとに進捗状況報告シートを作成し、そのシートに必要な情報の多くを組み込むことで作業量を抑えるなど、自己点検・評価作業の軽減の工夫も行った。指標については、大学基準協会の「大学基礎データ」と本学独自の「関西学院評価指標データベース」を蓄積し、学内のパソコンから常時閲覧できるようにした。大学基礎データについては、毎年度のデータをホームページ上で社会に公表している。

また、「大学第三次中長期計画」の自己点検・評価についてもそれぞれの項目ごとに達成目標とロードマップを定め、工程段階と進捗状況について進捗状況シートに記入することとしたが、双方の担当部局が一致しないなどの問題点があり、2008年度は別々に分けて記述することとした。

2007年度に記した課題（大学の状況を簡潔に認識できるコアとなる指標を選別して固有のページを作成するなどして学内の活用を促進したい）や第三者評価において指摘された事項（各学部・部局が評価指標データベースの活用を今後進めていくための具体的な方策）は今後の大きな課題である。

以上のように、認証評価の間の年（中間年）に行う自己点検・評価を初めて実施し、自律的な循環過程の構築をよりすすめることが出来た。

なお、2008年度以降の自己点検・評価の活動をより効果的で効率的な活動とするために、2007年度自己点検・評価の活動に関するアンケートを各学部・部局の関係者および評価専門委員を対象に行った。評価推進委員会は、その結果を反映させた、2013年度までの中期的な制度設計を踏まえた「2008年度大学自己点検・評価実施要領」を定めた（2008年4月25日）。2008年度はこの要領に従って実行していく。

アンケートでの改善提案のうち実施要領に反映させたものは、「特定項目の定量的な自己点検・評価の試行」、そして「従来の評価指標データベースを土台にした『関西学院自己評価統合ウェブシステム』の構築」などである。

「特定項目の定量的な自己点検・評価の試行」は、数量的なデータによって客観的評価が可能だと思われる「学生の受け入れ」「国際交流」「学生生活」「教員組織」「図書館」「財務」の項目について、数量的データを中心とした自己点検・評価を試行し、自己点検・評価の客観性を高めるとともに記述労力の軽減を狙ったものである。

「関西学院自己評価統合ウェブシステムの構築」は、評価指標データベースを学外のパソコンからも閲覧できるようにするとともに、自己評価の作業をすべてウェブ上で行うことが出来るようにしたもので、従来までは事務担当者を介して進捗状況報告シートを評価専門委員会に提出していたが、このプロセスを省くことで実効性が高まることを狙ったものである。

### 学内第三者評価

形式的になりがちな自己点検・評価の活動を各学部・部局等とのコミュニケーションの充実によって実質化を図り、改善しようとする努力が認められる。また、複数の大学や、文部科学省（中央教育審議会大学分科会認証評価特別委員会）、大学基準協会などからヒアリングを受けるなど、次の認証評価までも毎年、自己点検・評価を実施し、学外委員を含めた評価専門委員会による学内第三者評価を行う制度は注目を集めている。

なお、評価指標データベースや文部科学省の動向などを含め、各学部・部局がPDCAサイクルをまわしていくための有用な情報を提供していくことについてさらに工夫されることが期待される。

なお、学外委員からは以下の意見があった。  
ウェブシステムの構築など、業務遂行上の効率化が図られており、評価ができる。